２　本年度学校教育の努力点とその推進計画　**令和７年度**

１　テーマ　　自律して学ぶ宮前っ子の育成　～『やってみたい』をかなえよう～

２　テーマについて

本校は、元気で前向きな児童が多く、学習に対してもまずはやってみようという意欲はあるものの、与えられた課題をこなしたり、与えられた情報のみで学びを進めようとする様子が多く見受けられる。そこで、そのような受動的な学びを自らで学ぶ内容や方法を柔軟に変化させる主体的な学びに変えていくことをねらいとし、昨年度より自由進度学習における学習環境の設定と振り返り活動の充実に焦点を当て、「自律して学ぶ児童の育成」を目指してきた。

昨年度の実践では、児童の「できた」という振り返りが必ずしも学習成果と一致しておらず、次時の課題設定が適切に出来ていない点が課題として残った。自身の学習を適切に振り返る力を身に付けることで、学習方法や学習内容をより適切に選択（やってみたい）し、学習成果を生みやすくする（かなえよう）ことが可能になる。それは、以後の学習を自律して進めていく上で大変重要であると考える。そこで、今年度は、より質の高い振り返り活動が行えるよう、単元計画に加え、振り返り方法の工夫に焦点を当て、自身の学習を振り返る力を高めることで自律して学ぶ児童を育成していく。

３　目指す児童像

・令和７年度…学習を振り返る力を高め、自律して学ぶことができる児童

４　研究の進め方

○　学年で相談し、前・後期に分けて授業実践を行う。
○　前期実践で出た課題については学年で共有し、後期実践で解決を目指していくこととする。
○　授業観察の際には、学力や技能などで分類した観察児童を設定して臨む。
○　単元を見通した授業実践を行う。
○　低中高学年部長が中心となって年間実践計画を立て、各部会で事前検討会及び事後検討会を開く。
○　実践をまとめ、成果と課題を明らかにする。

５　努力点推進の組織

校長
教頭
推進委員会　【校長・教頭・主幹・教務・校務・推進委員長・低中高学年部長・学年主任】
　｜・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・○研究推進計画　○部会間の情報交換　○授業研究推進
全体会　（全職員）・・・・○努力点推進の共通理解　○実践のまとめ
授業研究部会　（担任）
（低・中・高各部会）・・・・・・・・・○授業研究計画　○授業実践
※　特別支援学級は低学年部会に所属　　○部会授業事前・事後検討会運営　○実践の記録

６　年間計画

月日	活動	主な内容
４月	努力点全体会	・　努力点推進計画提案
	低中高学年部会	・　実態把握、目標設定、年間計画検討
４月～７月	授業研究部会（前期）	・　日々の実践の振り返り、成果や課題の共有
７月～８月	中間部会	・　各学年で、前期実践の成果と課題の共有ならびに後期実践について検討
９月～１２月	授業研究部会（後期）	・　日々の実践の振り返り、成果や課題の共有
１２月	授業研究部会	・　最終報告会に向けて
２月	全体会	・　低中高学年部会としての実践の成果と課題、次年度の方向性
３月	推進委員会	・　次年度の推進計画